



森林・林業再生プランによる未来の森林づくり



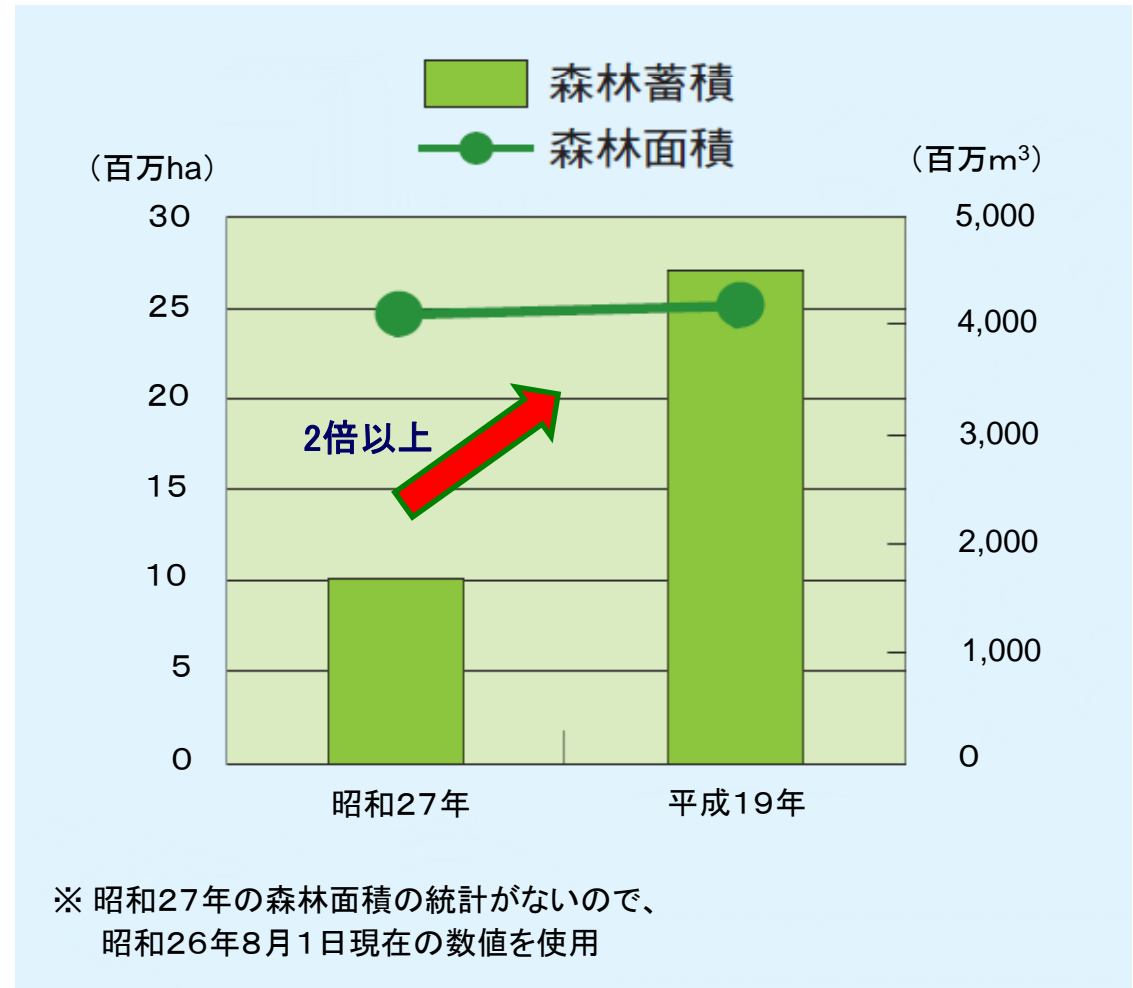
林野庁 東北森林管理局
岩手北部森林管理署

ご説明の内容

- 目次
- 1 日本の森林について(森林の現況・木材需給)
- 2 国有林について(現況・目的・森林林業再生)
- 3 森林計画制度について(意義・仕組み・住民懇談会)
- 4 馬淵川上流森林計画区の事業について
(特徴・資源の状況他)
- 5 特徴的な取り組みについて(技術開発・森林環境教育・
民国連携)
- 6 新計画策定について(基本的な考え方)

日本の森林について

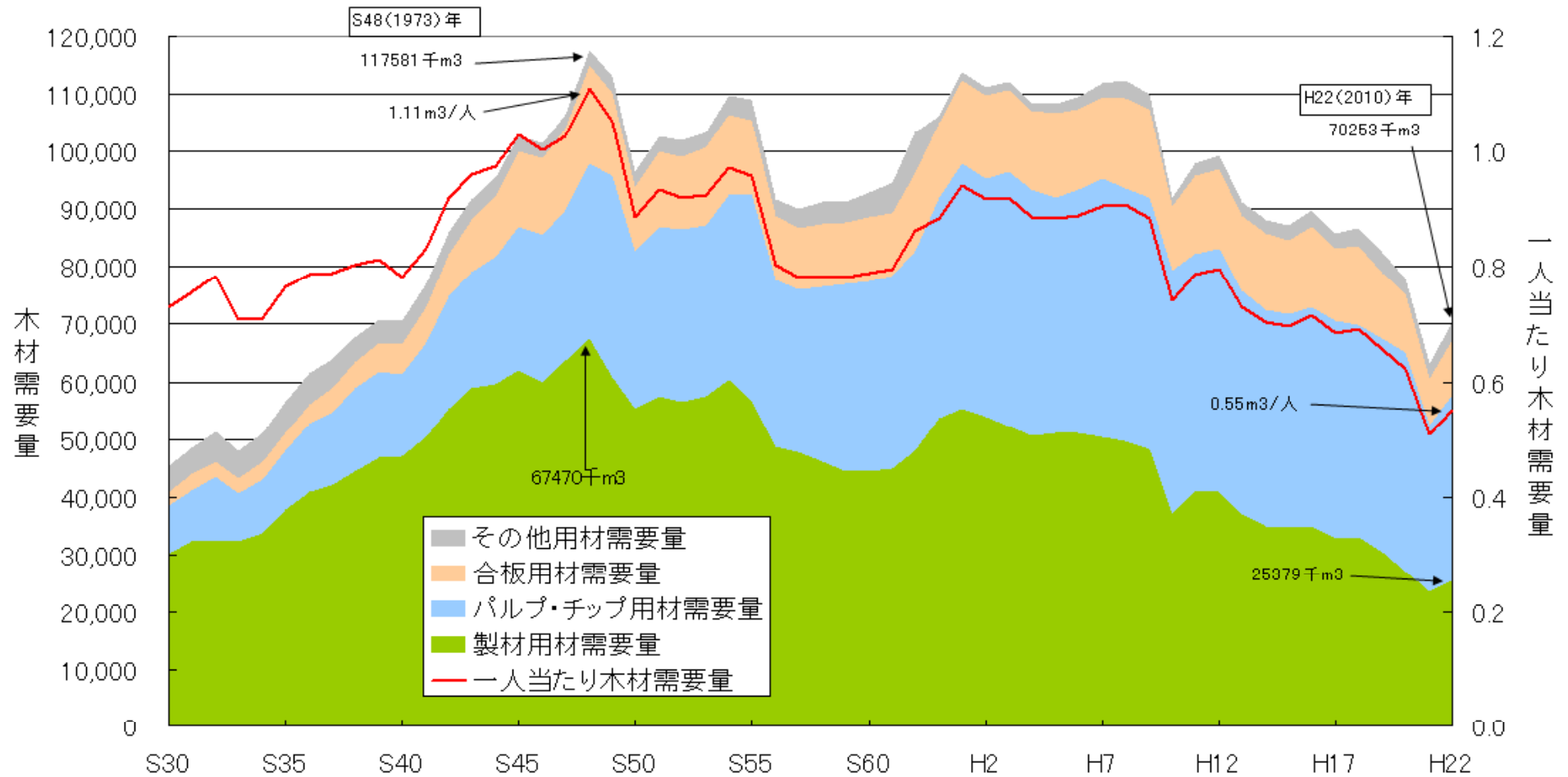
- 日本の森林
約2,510万ha
(国土面積の7割)
- 民有林
約 1,740万ha(約7割)
- 国有林
約 770万ha(約3割)



森林資源量の推移

木材需要量の推移

木材需要量の推移



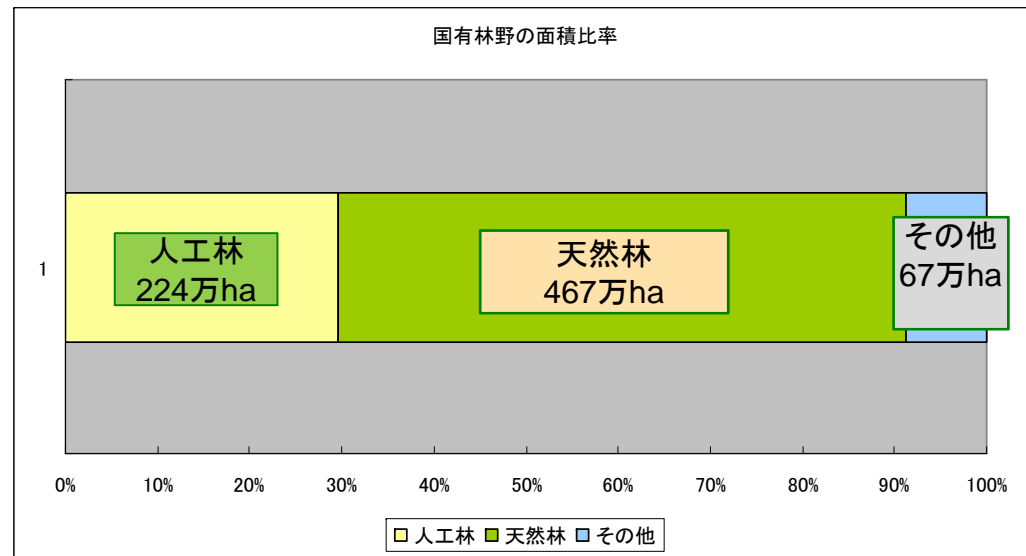
木材需要量の推移

国有林とは

国有林野の分布状況



国有林野(758万ha)の内訳



出典: 林野庁第63次定性23年度国有林野事業統計署(平成22年)

● 国有林の目標

● 目 標

1. 国土の保全その他国有林野の有する公益的機能の維持増進
2. 林産物の持続的かつ計画的な供給
3. 国有林野の活用による地域の産業の振興または住民の福祉の向上への寄与

基本方針に即した管理経営

1. 公益重視の管理経営の一層の推進
2. 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた
貢献
3. 国民の森林としての管理経営 等

森林・林業再生に向けた国有林の取組

- ◆ 公益重視の管理経営を一層推進
- ◆ 組織・技術力・資源を活用して、林業技術の開発普及、人材育成など
民有林への指導やサポートなど我が国の森林・林業の再生に貢献

具体的な取組

- 低コスト化を実現する施業モデルの展開と普及
 - 効率的な作業システムの推進 ・民有林における普及定着
- 林業事業者の育成
 - 現地検討会による技術の向上 ・事業者の施業提案による総合評価入札
- 民有林と連携した施業の推進
 - 施業集約化支援 ・民国連携した共同施業団地
- 森林・林業技術者等の育成
 - 行政支援のためのフォレスター・プランナーの育成
- 林業の低コスト化に向けた技術開発
 - コンテナ苗による造林経費の低減



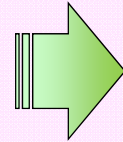
森林共同施業団地



国有林主催の
現地検討会
(森林作業道作設の
実演)

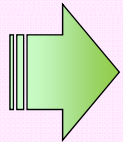
● 森林計画の意義

無秩序な
森林の開発



森林の荒廃を招き、山崩れや風水害による災害を発生させる原因

無計画な伐採



森林資源を減少させ、林産物供給の面でも大きな混乱をきたすおそれ

森林の造成には超長期の年月を要する
国民経済に大きな影響



長期的な視点に立った
計画的かつ適切な森林の取扱いを
推進することが必要

森林計画の区域

●森林計画区域の設定

農林水産大臣が
都道府県知事の意見を聞き、
地勢その他の条件を勘案し、
主として流域別に都道府県の
区域を分けて定めている

全国で158森林計画区を設定

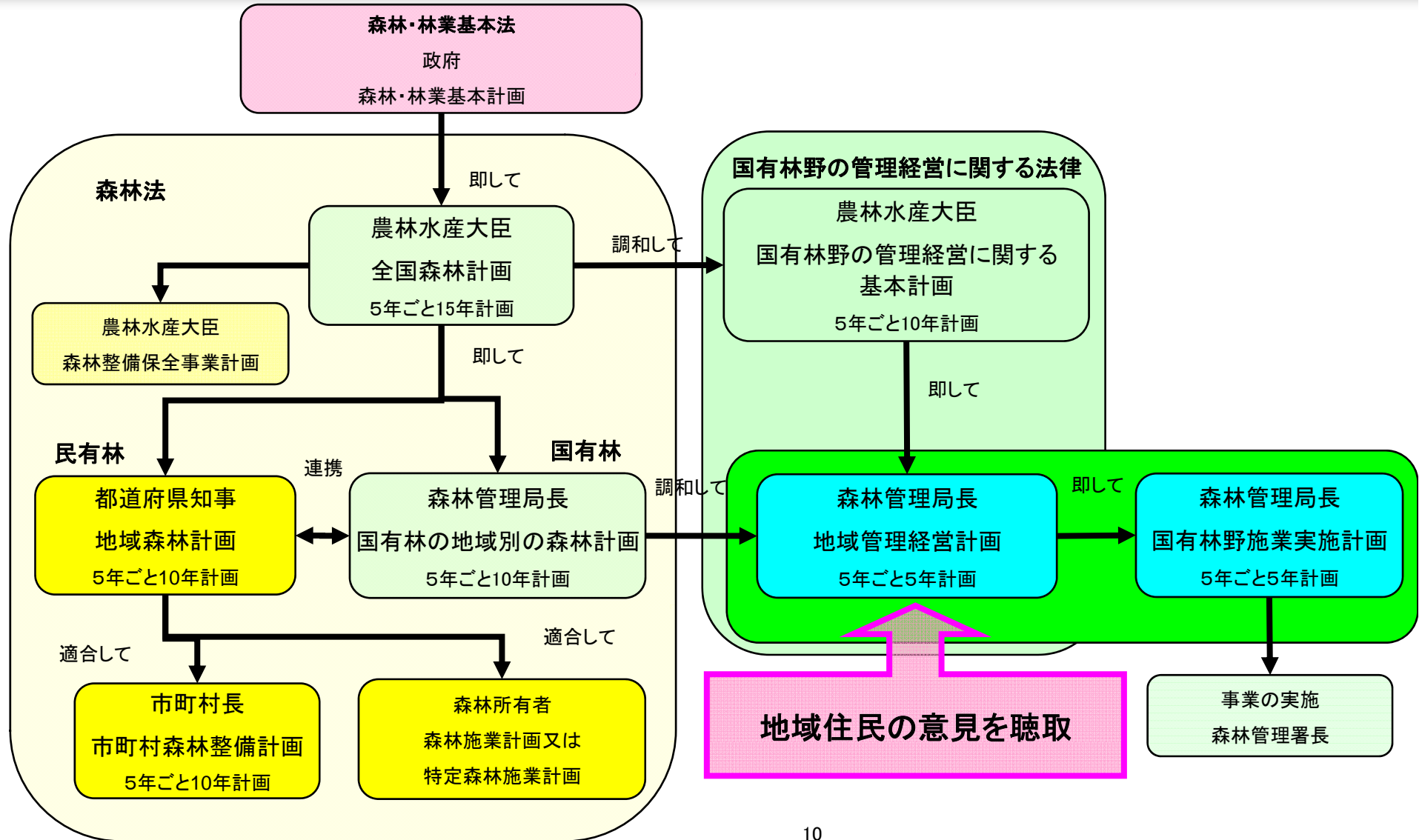
うち東北森林管理局管内に
17森林計画区

うち岩手県内に
5森林計画区

東北森林管理局管内【17計画区】



森林計画の体系



● 地域管理経営計画の主な内容

I 管理経営に関する基本的な事項

1. 基本方針(持続可能な森林経営の実施方向 等)
2. 機能類型に応じた管理経営(地区ごとの機能類型の方向 等)
3. 流域管理システムの推進(民国一体となった取組 等)
4. 主要事業量(伐採総量、更新総量 等)
5. その他(地球温暖化防止、生物多様性の保全 等)

II 国有林野の維持及び保存

1. 巡視(境界の保全管理 等)
2. 森林病虫害の駆除(松くい虫、ナラ枯れ対策 等)
3. 特に保護を図るべき森林(保護林、緑の回廊 等)
4. その他(希少な野生動植物の保護 等)

III 林産物の供給(木材の安定的な供給 等)

IV 国有林野の活用

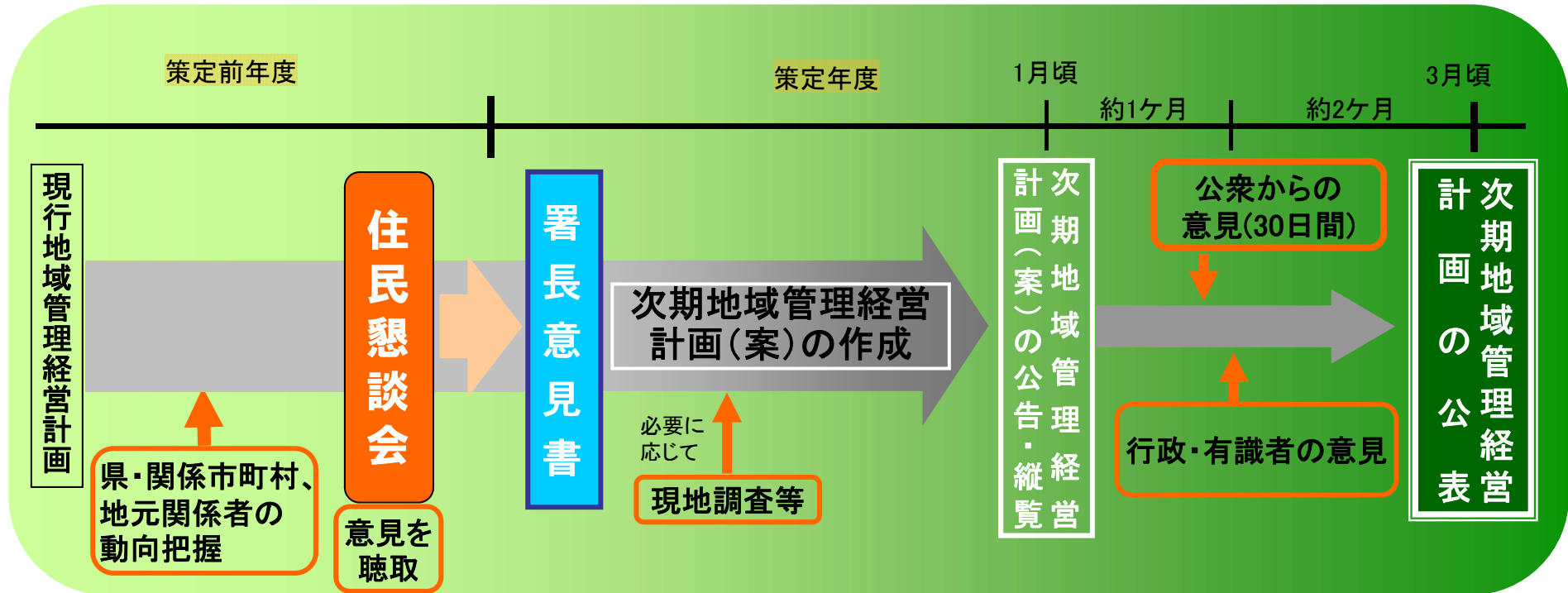
V 公衆の保健の用に供する区域・施設

VI 公益的機能維持増進協定(介在する私有林も一体的に整備)

VII 国民参加による森林整備(森林環境教育の推進 等)

● 森林計画策定の仕組みと住民懇談会の位置付け

● 地域管理経営計画等策定のプロセス



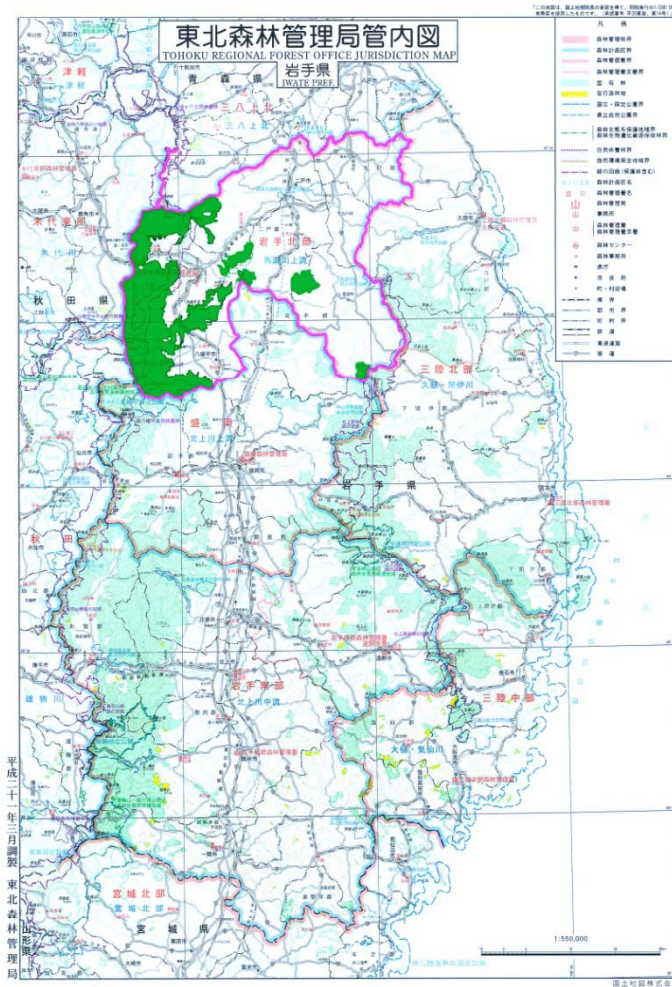
* 国有林野施業実施計画も同じ

● 住民懇談会の位置付け

地域管理経営計画等の計画策定手続き前に多様な関係者が一堂に会する場を設定

- ◆ さまざまな地域情報
- ◆ 多様な地域住民・関係者の意見を収集・反映

●馬淵川上流森林計画区の特徴



●位置：岩手県の北西部に位置し、八幡平を中心に馬淵川・米代川の上流域と、北上高地の平糠・上外川流域。

●特徴：八幡平・岩手山をはじめ、安比高原など優れた景観を有し、また、上流域として木材生産も発達している。

●計画区内の国有林

- 馬淵川・米代川・北上川等の源流部等
＝八戸・能代・石巻と県を越え流程が長く、農業・工業・発電等に重要な水源地帯（水源かん養保安林が多い）
- 十和田八幡平国立公園や奥羽山脈みどりの回廊など
＝豊かな自然景観が保全された森が多い
- 特別天然記念物
＝焼走り溶岩流・平糠北限のイヌブナ等



岩手山と焼走り溶岩流



馬淵川上流森林計画区の特徴

市町村名	市町村面積	森林面積	民有林	国有林	森林率 (%)	国有林率 (%)
二戸市	43,031	31,215	26,901	4,315	74	14
八幡平市	86,225	68,782	23,265	45,517	78	66
葛巻町	43,499	37,054	36,297	757	85	2
軽米町	24,574	18,771	18,761	0	76	0
九戸村	13,405	10,078	10,078	0	75	0
一戸町	30,011	21,867	19,431	2,436	73	11
計	239,745	187,767	134,733	53,025	76	28
(参考)岩手県	1,527,877	1,174,467	786,131	388,336	77	33

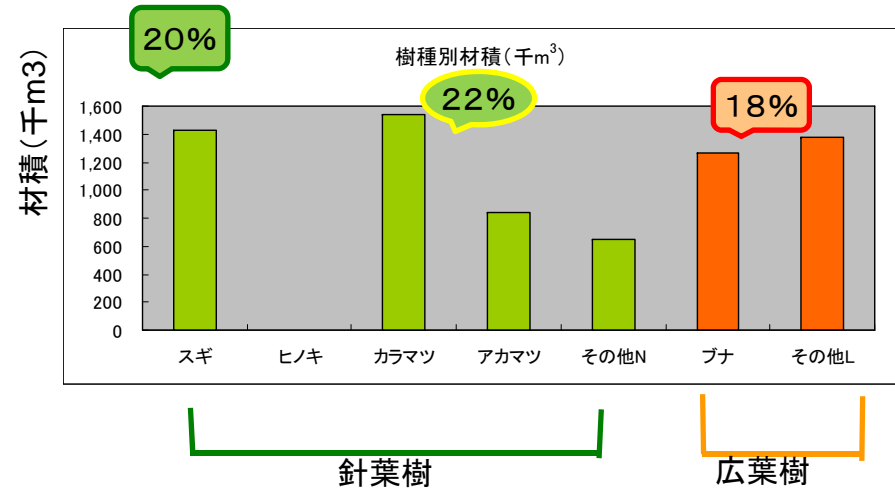
国有林面積については平成23年4月1日現在
市町村面積は『平成22年岩手県林業統計』より抜粋

森林資源の状況1(国有林)

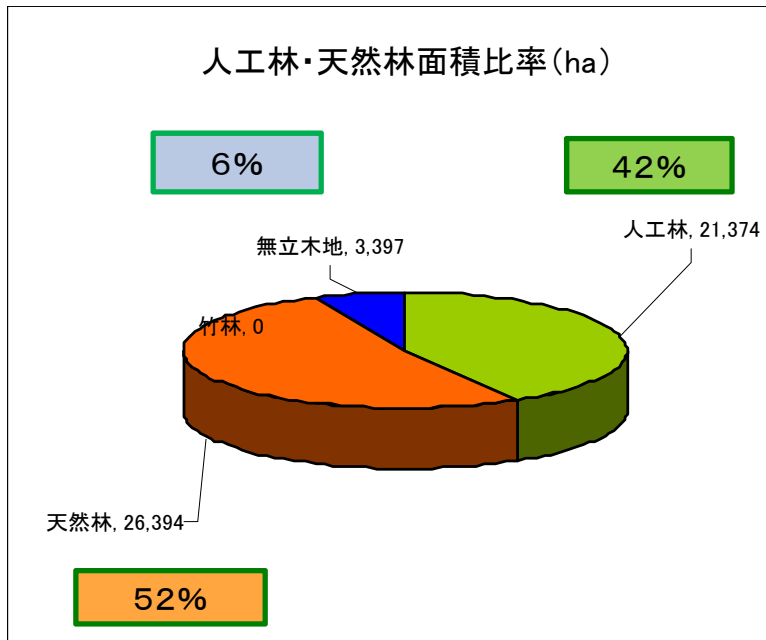
計画期間 平成21年4月 1日
平成26年3月31日

区分		面積 (ha)	材積 (千m ³)
林地	人工林	21,374	3,910
	天然林	26,394	3,816
	竹林	-	-
	無立木地	3,397	0
	計	51,165	7,726

樹種別材積

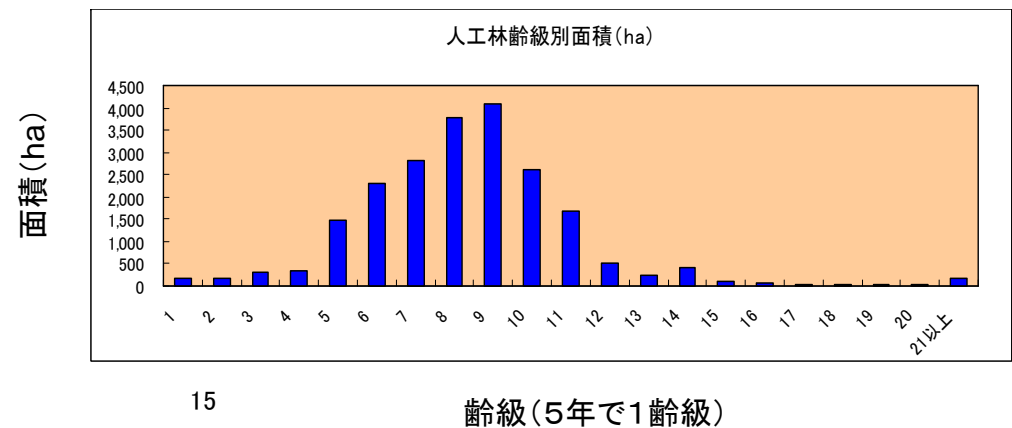


人工林・天然林面積比率 (ha)



人工林齢級別配置

31~50年生で約63%を占める



森林資源の状況2(私有林)

計画期間 平成21年4月1日
平成26年3月31日

区分		面積 (ha)	材積 (千m ³)
林地	人工林	59,200	15,342
	天然林	71,184	11,043
	竹林	-	-
	無立木地	4,349	0
	計	134,773	26,385

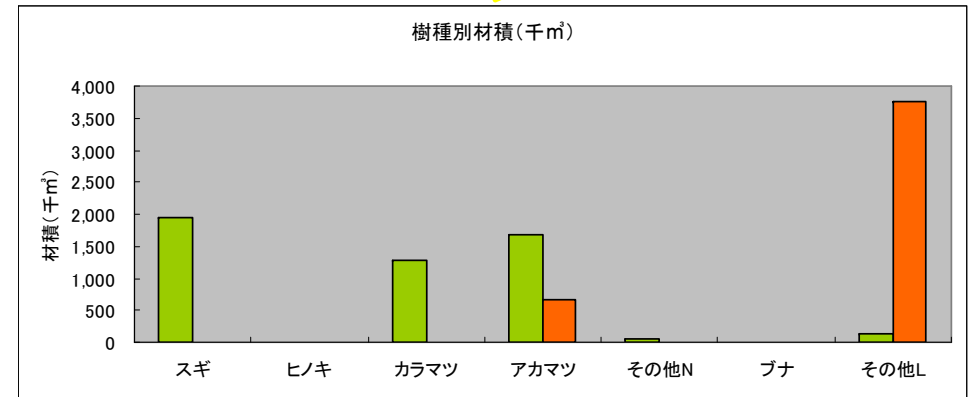
材積(千m³)

樹種別材積

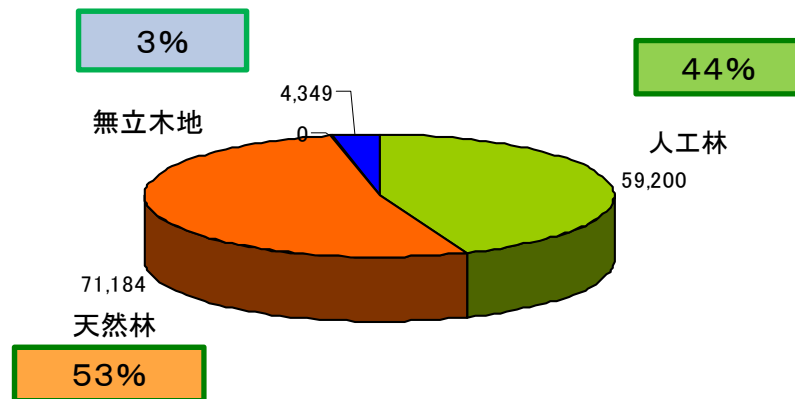
20%

22%

18%



人工林・天然林面積比率(ha)



機能類型区分について(基本計画変更案)

公益機能重視の管理経営方針を一層推進するため、新たに、森林の機能に応じた5つタイプに区分し適切な施業の推進を図る。

山地災害防止タイプ

- ・ 下層植生と樹木の根茎が発達し、
土壌保持能力の優れた森林

5,000Ha



自然維持タイプ

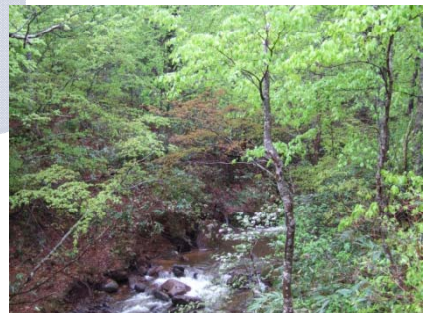
- ・ 原生的な森林生態系や希少な野生
生物の生息に適した森林の維持

12,000Ha



森林空間利用タイプ

- ・ 保健・文化・教育的利用の形態に応じ
た多様な森林 7,000Ha



快適環境形成タイプ

- ・ 汚染物質の高い吸着性や抵抗性
のある樹種から構成される森林

水源涵養タイプ

- 人工林の間伐や長伐期化、広葉樹の導入
による育成複層林化による水源涵養機能
を第一とする森林 29,000Ha

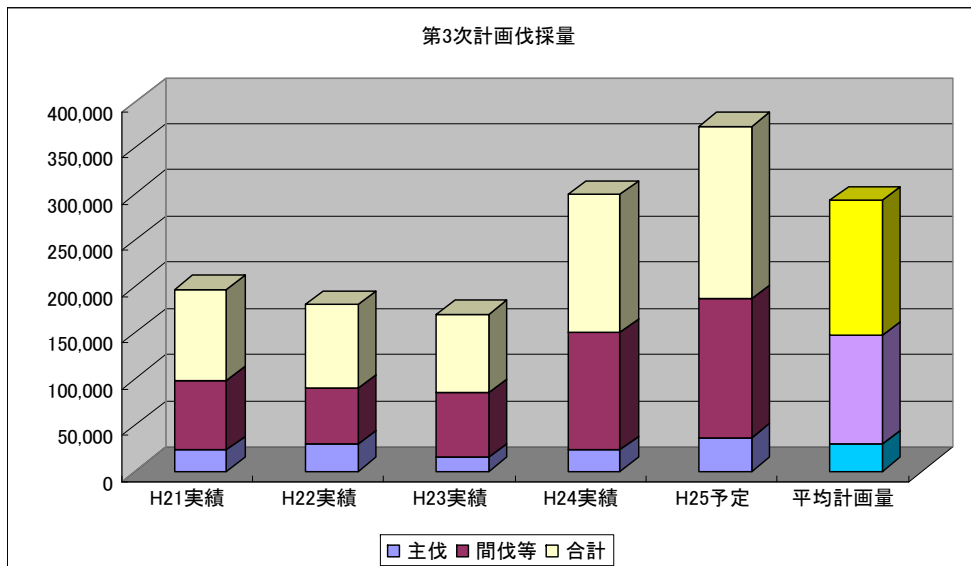
計画区の伐採量

計画期間 平成21年4月 1日
平成26年3月31日

●伐採量：

伐採種	計画量(立木材積 m^3)
主伐	144,515 m^3
間伐	587,120 m^3
合計	731,635 m^3

※ 実績のうち平成25年度分は予定量で計算



高性能林業機械による間伐

● 計画区の造林量

計画期間 平成21年4月 1日
平成26年3月31日

● 造林量 :

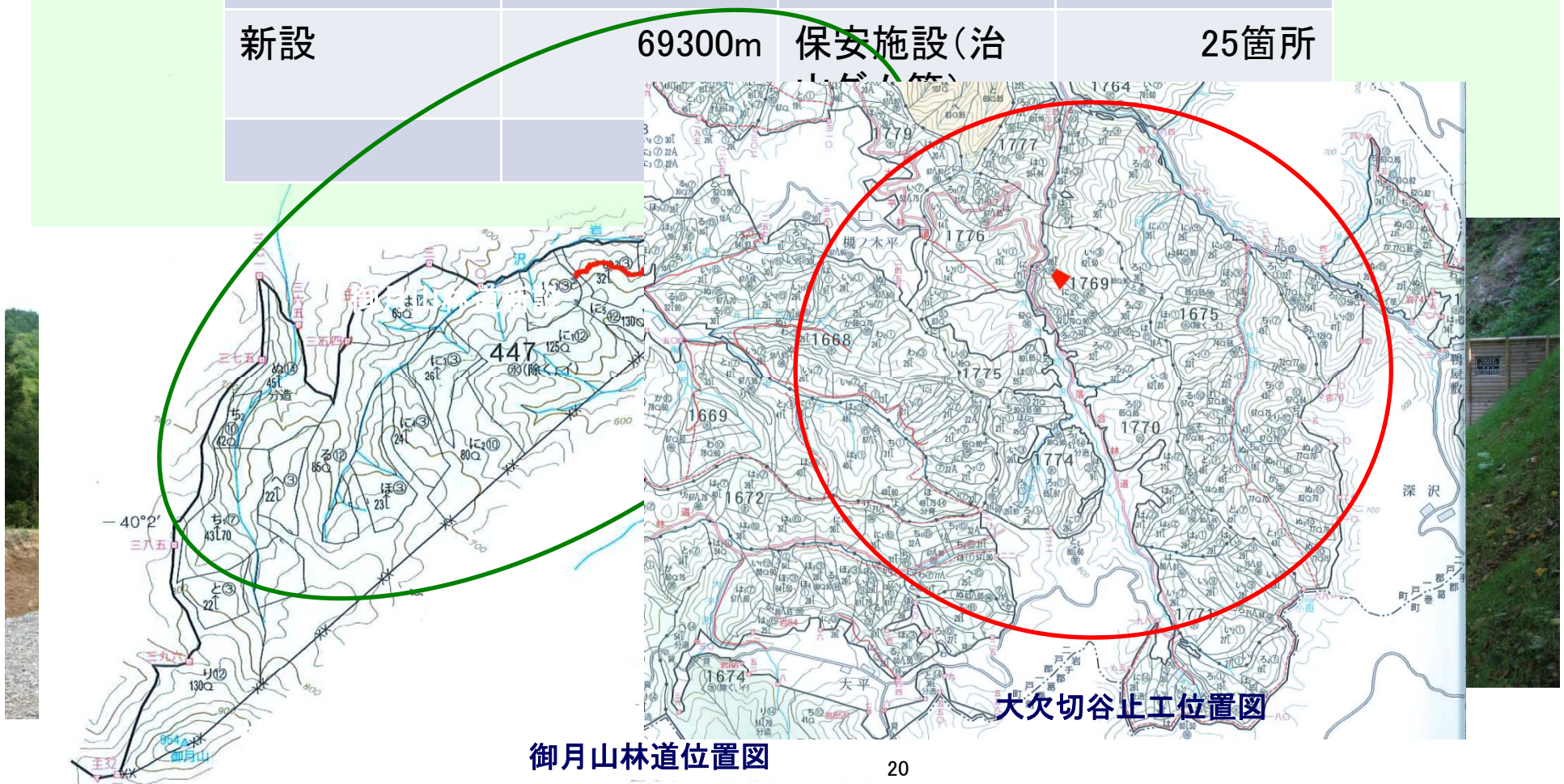
作業種	計画量(面積Ha)
人工造林(新植)	468Ha
天然更新	36Ha
下刈	1,156Ha
つる伐・除伐	184Ha
合計	1,844Ha



計画区のその他の事業量

計画期間 平成21年4月 1日
平成26年3月31日

林道等建設延長		治山施設延長	
	計画量		計画量
新設	69300m	保安施設(治 しごく竹)	25箇所



御月山林道位置図

大欠切谷止工位置図

管内の保護林

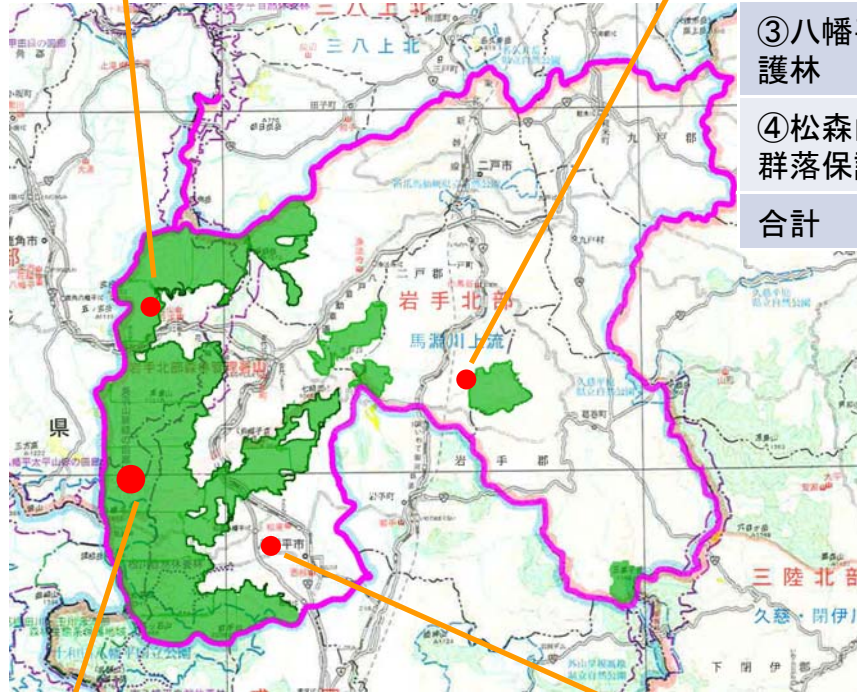
計画期間 平成21年4月1日
平成26年3月31日

●保護林

原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、
資することを目的として、区域を定め、禁伐等の

①夏氷山風穴植
物群落保護林

②平糠イヌブナ植
物群落保護林



③八幡平植物
群落保護林

④松森山御堂松植
物群落保護林

保護林名	特徴	面積
①夏氷山風穴植物群落保護林	我が国を代表する貴重な植物群落を保護するための森林	6.3Ha
②平糠イヌブナ植物群落保護林		55.06Ha
③八幡平植物群落保護林		6,366.43Ha
④松森山御堂松植物群落保護林		7.32Ha
合計		6,435.11Ha



平糠イヌブナ植物群落保護林

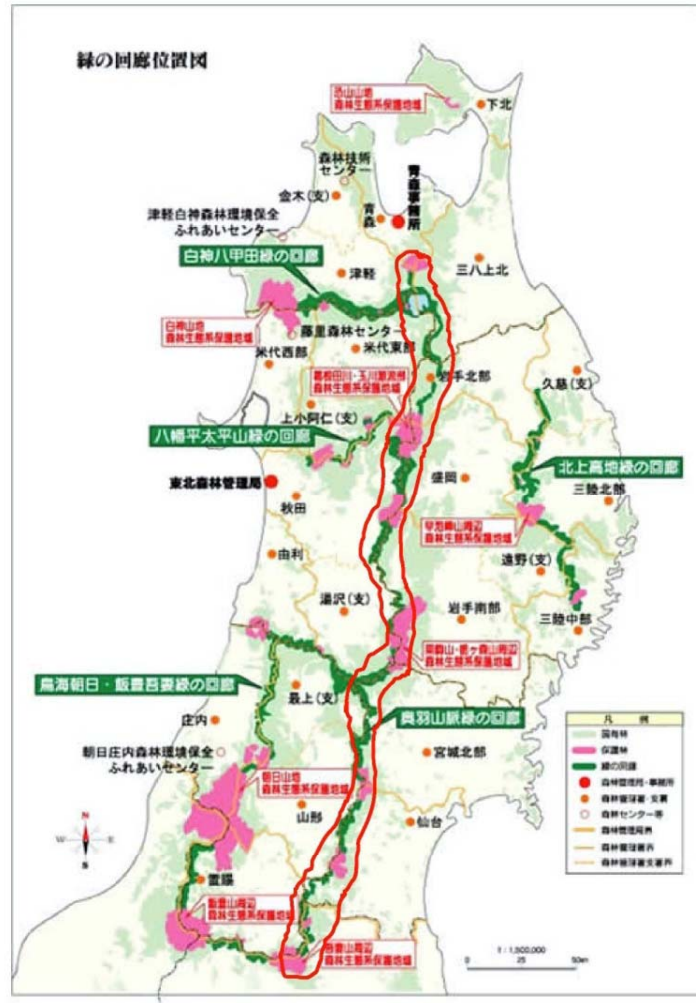
管内の緑の回廊

計画期間 平成21
年4月 1日

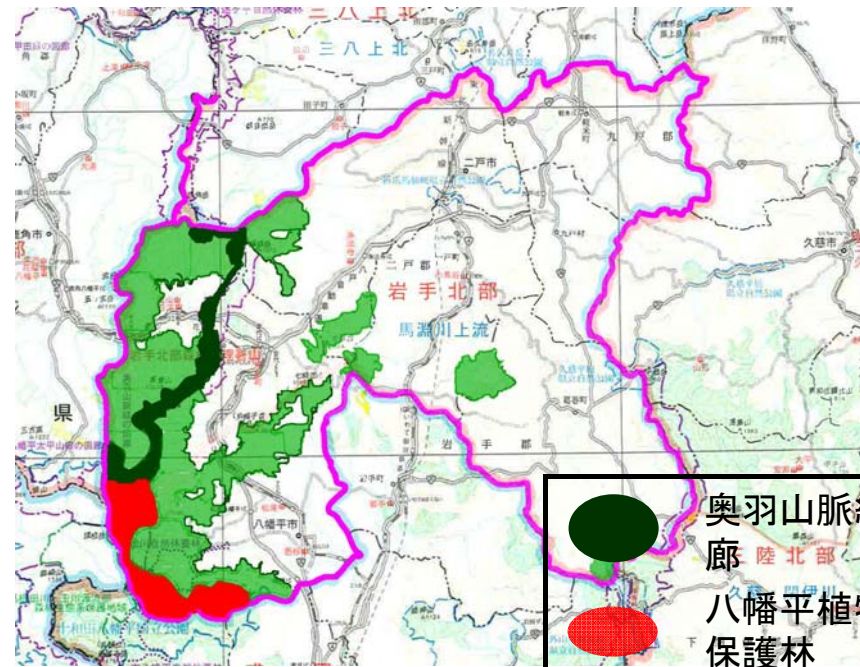
平成26年3月31日

●緑の回廊

野生生物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促し、より広範かつ効果的な森林生態系の保全を図っている森林



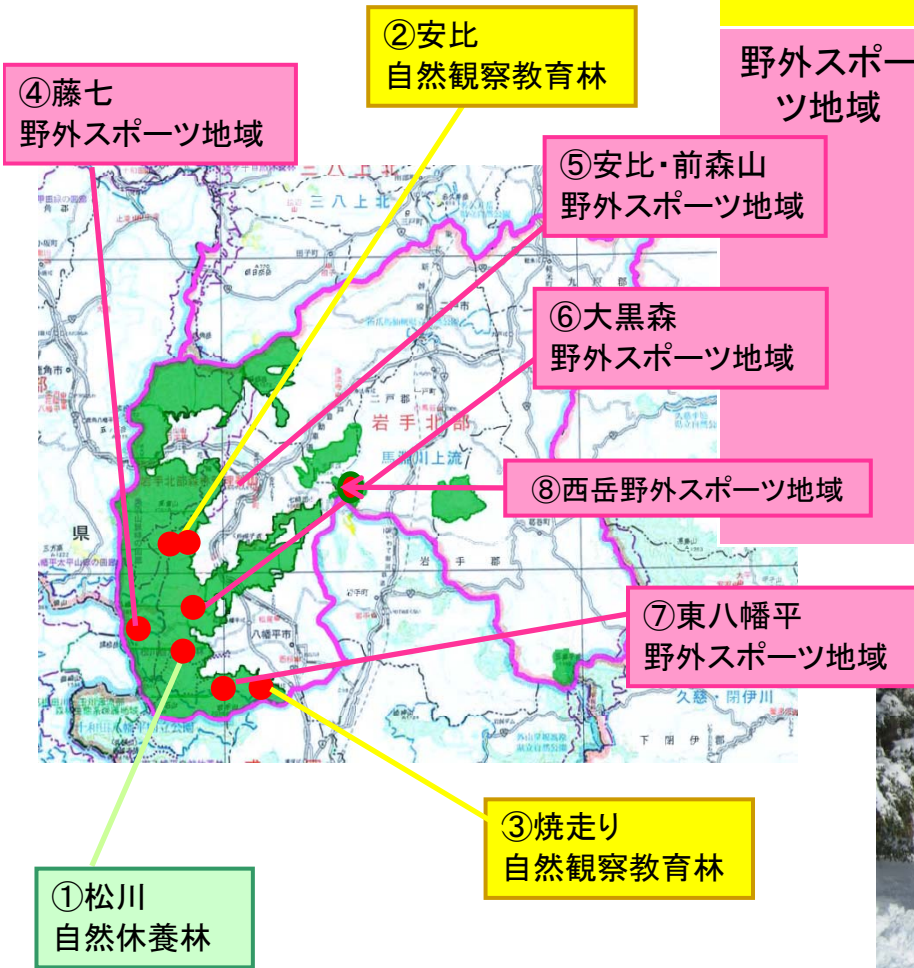
名称	内容	面積(ha)	延長(km)
奥羽山脈 緑の回廊	奥羽山脈沿いに約2kmの幅で、北は青森県の八甲田山から、南は、宮城・山形の蔵王周辺に至る400km森林の連続性を確保し、動植物の保護や遺伝資源の保全を図り、生物多様性の維持に資する森林です。	73,000	400



管内のレクリエ

●レクリエーションの森
国民の保健・文化的利用を積極的、計画

名称		特徴	箇所	面積(Ha)
自然休養林	①松川自然休養林	特に風景が美しく、保健休養に適した地域	1	1,431Ha
	②安比自然観察教育林	小中学校の自然科学教育などに適した地域	1	958Ha
自然観察教育林	③焼走り自然観察教育林		1	241Ha
野外スポーツ地域	④藤七野外スポーツ地域	スキー場等のスポーツ施設を設置する地域	1	72Ha
	⑤安比・前森山野外スポーツ地域		1	1163Ha
	⑥大黒森野外スポーツ地域		1	279Ha
	⑦東八幡平野外スポーツ地域		1	252Ha
	⑧西岳野外スポーツ地域		1	125Ha



安比野外スポーツ林



安比自然教育観察林

管内の特徴的な取り組み

①「技術開発を活かした低コスト林業」



天然更新を活用した牧草地の森林化①



稚樹の発生状況と市民参加の森づくり②

牧草地を森林に復元するため、通常の造林コストでは膨大な経費となるため、天然更新を活用し、低コストで郷土樹種による「森づくり」の技術開発を目指している。(約40～50%の経費を目標)

管内の特徴的な取り組み2

②「技術開発を活かした低コスト林業」



■ コンテナ苗の実証試験①



多雪寒冷地における苗の改良等の検討②

コンテナ苗は、育苗管理の利点や、培地ごと植えることで活着率と初期成長の良い点がメリットで近年普及しています。しかし、九州をはじめとした先進地と気象条件の違う、東北地方においては実証例が少なく、折れ等の心配も有ることから、育林・育苗も含めた開発に取り組んでいます。

管内の特徴的な取り組み3

「教育現場と連携した体系的な森林環境教育」



安代小学校の森林学習
(二戸市 子ども樹木博士)



ツールとしてのSPと田山小学校での
実験による教科との連携
(八幡平市 四角岳他)

次代を担う地域の子供たちとともに、教育現場と連携した森林学習に取り組み、子供たちの「気づき・理解」から森林や地域～日本～地球の環境を学びます。

管内の特徴的な取り組み4

「民有林や民間の団体と連携した森林づくり」



民国連携した共同施業団地
(八幡平市・二戸市)



あっぴ高原ふるさと倶楽部によるシバ
草原再生活動
(八幡平市 あっぴ高原)

- 民有林と国有林で共同の施業団地(間伐や皆伐)を設定し、林道や土場地の共用など相互の作業の効率化を図る。また、シバ草原再生のため市民手作りの活動が行われています。

● 新計画策定に向けての署（署長意見書）の基本的考え方

① 林業再生という課題の中での国有林の役割の発揮

●地球温暖化防止対策も含めた事業量の増加、計画的な木材供給、民国連携した森林共同施業団地の設定、局内の准フォレスターによる市町村森林整備計画の策定のバックアップ等、林業再生に向け取り組みます。



② 豊かな自然環境の保全管理

●当計画区には、優れた景観を有する貴重な天然林等が多数存在し、またクマタカ等の希少野生動植物が数多く生息していることから、地域住民、ボランティア、NPO等とも連携を図りながら、その特性に応じた保全管理に努めます。



● 新計画策定に向けての署（署長意見書）の基本的考え方

③ 山地災害の防止と病害虫対策の徹底

● 山地災害のおそれのある箇所には、適切な治山事業を計画し、下流域の安全・安心の確保に努めます。

また、当計画区では、被害発生のない松くい虫等の病害虫対策について、日常の巡視強化による早期発見、被害予防に向けた市町村や民有林と連携した取り組みを行います。

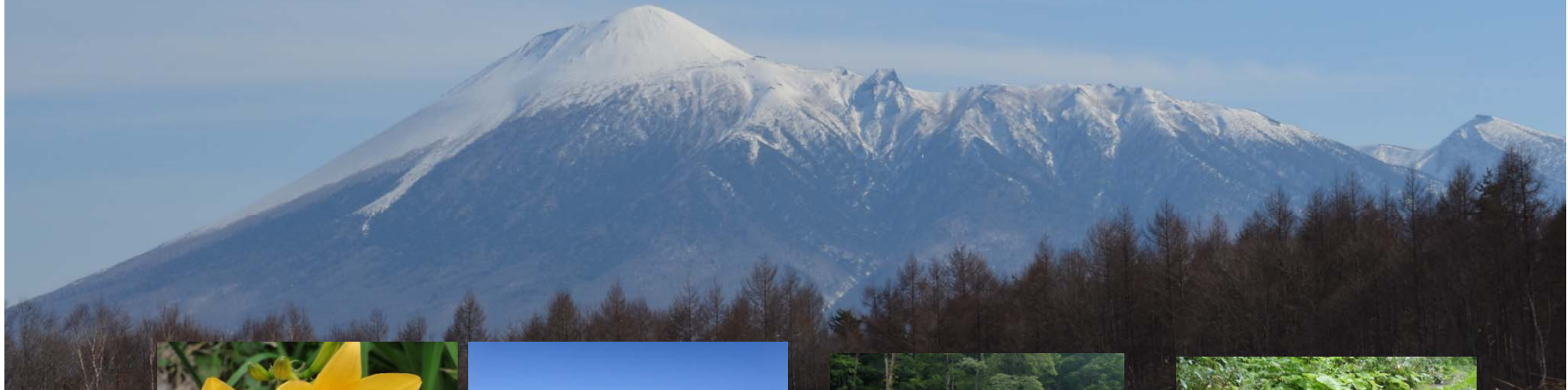




国民の森林・国有林

次代に引き継ぐ国民参加の森林づくり

国有林の森林計画づくりに地域の声を



林野庁 東北森林管理局
岩手北部森林管理署